

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医療施設の設備整備の支援	事業開始年度	昭和54年度	作成責任者		
担当部局庁	医政局	担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室	室長 中山 鋼		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	へき地保健医療対策事業実施要綱等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	へき地医療施設、救急医療施設、周産期医療施設等の医療機器等を整備し、医療提供体制と地域保健及び健康増進体制の連携強化を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	下記の事業等について、医療機器を整備する際の経費について補助を行う。 ・へき地関係：へき地医療拠点病院、へき地診療所、へき地患者輸送車(艇)、へき地巡回診療車(船)、離島歯科巡回診療用設備、過疎地域特定診療所、へき地保健指導所、へき地・離島診療支援システム、沖縄医療施設、奄美群島医療施設、地域医療充実のための遠隔医療設備、離島等患者宿泊施設 ・臨床研修：臨床研修病院支援システム ・産科：産科医療機関設備 ・救急医療機関設備 ・災害医療機関設備					
実施状況	平成21年度は47都道府県で事業を実施					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	1,857	3,835	1,548	1,354	1,354
	執行額	2,406	2,928	3,056		
	執行率	129.6%	76.3%	197.4%		
	総事業費(執行ベース)	2,406	2,928	3,056		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業終了後、補助事業者から提出された実績報告書に基づき、全ての経費について、支出先、用途をチェックしている。したがって、事業目的の実現や効果の観点からの検討は行われている。				
	見直しの余地	予算額と執行額の乖離の理由を分析の上、予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映して参りたい。				
予算チームの監視・所見効率化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省
21年度3,056百万円

※補助率1/3、1/2、3/4

【補助】

A. 都道府県 3,056百万円

(内訳)上位10者

東京都	277百万円
島根県	254百万円
秋田県	185百万円
新潟県	155百万円
大阪府	130百万円
千葉県	126百万円
沖縄県	125百万円
愛知県	115百万円
福岡県	111百万円
岐阜県	106百万円

【補助】

B. 医療機関 3,056百万円

(東京都内訳 277百万円)上位10者

杏林大学医学部附属病院	59百万円
帝京大学医学部附属病院	30百万円
日本医科大学附属病院	16百万円
日本赤十字社医療センター	16百万円
東京女子医科大学病院	15百万円
金内メディカルクリニック	14百万円
東京女子医科大学東医療センター	9百万円
昭和大学病院	8百万円
東京医科大学病院	8百万円
神津島村診療所	8百万円

事業内容

・救命救急センター、周産期医療施設、がん診療施設等への医療機器整備に対する補助

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.東京都			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	医療機関に対する医療機器等購入に係る補助	277			
計		277	計		0
B.杏林大学医学部付属病院			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	医療機器等の購入	59			
計		59	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0